

組合員の皆様

2015年6月1日

財政状態及び勘定未閉鎖保険年度

当クラブの理事会が5月に開催され、クラブの財政状況について精査しました。本回覧は組合員およびブローカーの皆様に最新情報をご案内するものです。

2015年2月20日に終了した保険年度の財務報告書

理事会によって財務報告書 (The Report and Financial Statements) が承認されました。追って報告書を当クラブのウェブサイト上で公開し、組合員の皆様には決算概要 (Review of the Year) を送付いたします。スタンダード・クラブは、理事会の目標であるコンバインド・レシオ 100% (前年度は 101%と同程度) を達成し、均衡の取れた保険引受けを実現しました。

加入トン数は 3%増加して、1億 3,100 万 gt (131m gt) から 1億 3,500 万 gt (135m gt) になりました。一部の組合員は運航基準を満たさず、あるいはリスクに見合った保険料を受け容れず、保険更改をしませんでした。そのため、更改トン数に若干の減少が見られましたが、それにもかかわらずこのように増加いたしました。当クラブは当該保険年度において 1.8%の投資利益率を実現しました。為替のマイナス影響を除外した場合には約 5.7%となります。これにより 1,100 万ドルの剰余金が発生し、自由準備金 (free reserves) は 3億 6,900 万ドルから 3億 8,000 万ドルになりました。この 3%の増加は加入トン数の増加と一致しています。

このように安定した保険引受実績と堅実かつ選択的成長は、優れた財政状態と組合員の高いクオリティに裏打ちされた、持続可能で価値のある保険を提供するという当クラブの戦略に沿ったものとなっています。

P&I クラス

2012/13 保険年度

当該保険年度の勘定は閉鎖されました。組合員に対する追加の保険料の発生はありません。大型クレームが想定より少なかったことから、クレームは予想を下回る展開となりました。

The Standard Club Europe Ltd

www.standard-club.com

Registered in England No. 17864. Authorised by the Prudential Regulation Authority and regulated by the Financial Conduct Authority and the Prudential Regulation Authority

Managers' London Agents: **Charles Taylor & Co. Limited**. Registered in England No. 2561548
Charles Taylor & Co. Limited is an appointed representative of Charles Taylor Services Limited,
which is authorised and regulated by the Financial Conduct Authority

Registered Address: Standard House, 12-13 Essex Street, London WC2R 3AA, UK
Telephone: +44 20 3320 8888 Email: pandi.london@ctplc.com

2013/14 保険年度

当該保険年度のクレームは依然として悪化しているため、保険引受成績はわずかに落ち込みました。しかし、予定外保険料が必要になることはないと思込んでいます。

2014/15 保険年度

わずかな保険引受損失が見込まれます。しかし、2015年11月1日に期日を迎える予定保険料（ETP：Estimated Total Premium）の分割最終支払のほかに、追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。

2015/16 保険年度

予定保険料が請求されました。分割最終支払の期日は2016年11月1日です。

解除保険料

理事会は、当クラブの財務力と今後の保険料の安定性に引き続き強い自信を持っています。そのことを組合員に示すために、理事会は解除保険料を P&I 市場の中で最低水準に設定することを決定いたしました。3つの勘定未閉鎖保険年度 2013/14、2014/15、2015/16 の各解除保険料率は再度引き下げられ、それぞれの予定保険料の 2%、3%、7%となっています。

ディフェンスクラス**2012/13 保険年度**

当該保険年度の勘定は閉鎖されました。組合員に対する追加の保険料の発生はありません。

2013/14 および 2014/15 保険年度

これらの保険年度のクレームは予測よりも良好な展開で、両年度とも保険引受剰余金が計上されています。このため予定外保険料が必要になることはないと思込んでいます。

2015/16 保険年度

予定保険料が請求されました。追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。

解除保険料

3つの勘定未閉鎖保険年度の各解除保険料率は P&I クラスと同じです。

スタンダード・ロンドン・クラス

2012/13 保険年度

当該保険年度の勘定は閉鎖されました。組合員に対する追加の保険料の発生はありません。

2013/14 および 2014/15 保険年度

これらの保険年度は順調に推移しています。ある大手フリートの悪化が、過年度の改善により部分的に相殺されたためです。追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。

2015/16 保険年度

予定保険料が請求されました。追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。

解除保険料

3 つの勘定未閉鎖保険年度 2013/14、2014/15、2015/16 の各解除保険料率は、それぞれ 2%、0%、0%です。解除保険料率が低く設定されたのは、当クラブの財政状態と今後の保険料の安定性に対する理事会の自信の表れです。

戦争危険クラス

2012/13 保険年度は勘定が閉鎖され、いずれの勘定未閉鎖の保険年度でも追加の保険料が必要になることはないと思込んでいます。すべての勘定未閉鎖保険年度について、解除保険料率は 0% に維持されています。

以上



Jeremy Grose
Chief Executive
Charles Taylor & Co Limited

Direct Line: +44 20 3320 8835
E-mail: jeremy.grose@ctplc.com

(本回覧は、英文クラブ回覧を組合員各位の便宜のために日本語に仮訳したものです。)